

**迫り来る地震から命を守る、まずは身近なところから！**

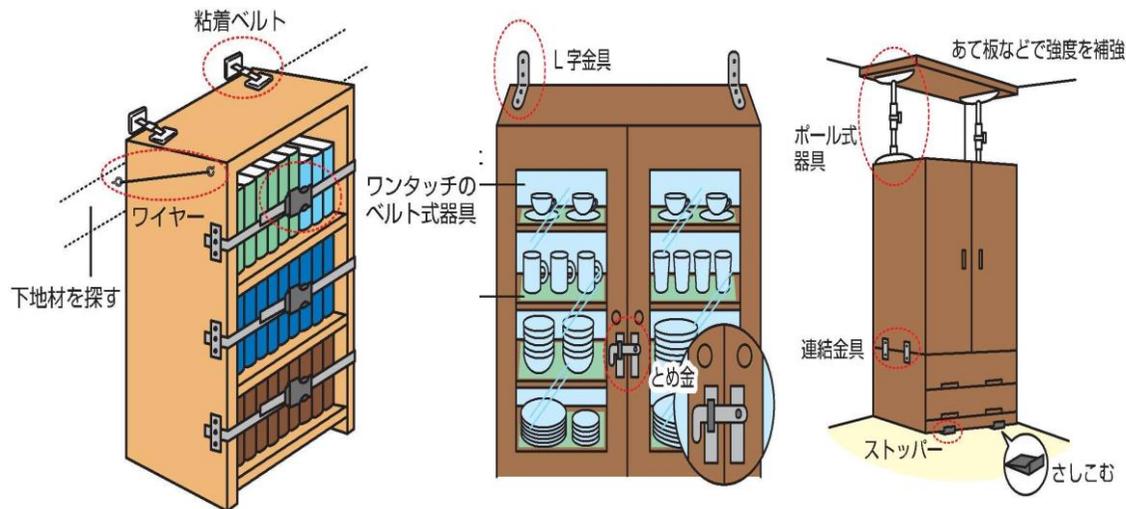


# 家具や書庫等の固定をしましょう！

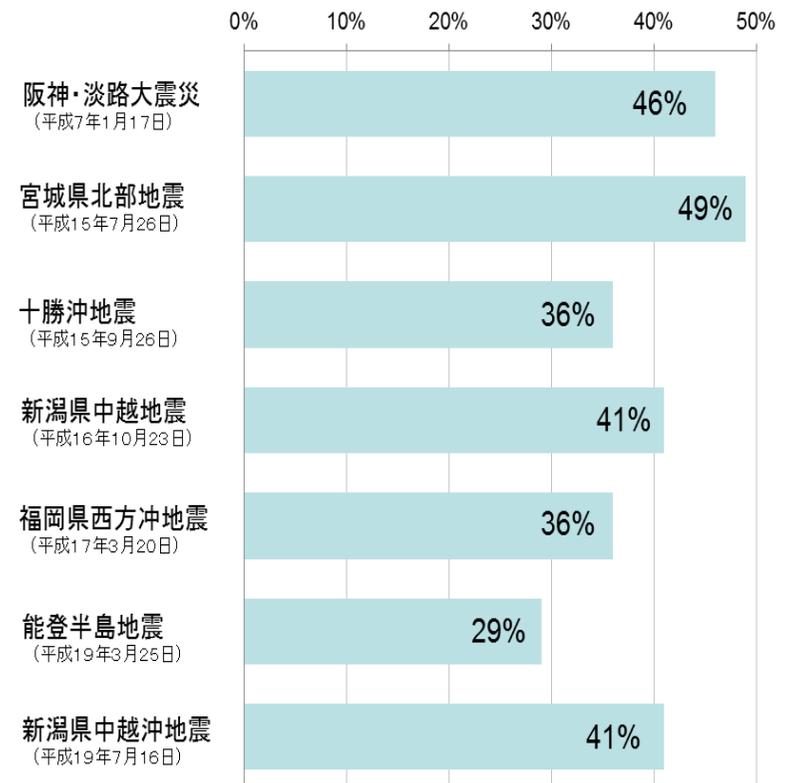
近年発生した地震では、約30～50%の人が、家具類の転倒・落下・移動により負傷しています。家具等の転倒防止は、家庭や職場でできる効果の高い対策です。

**南海トラフ地震はいつ発生するかわかりません！**

家具の転倒・落下によってケガをしたり、倒れた家具が出入り口をふさいで避難できなくなならないように、日頃から家具の固定をしたり、配置を工夫したりして地震に備えましょう。



近年発生した地震における家具類の転倒・落下・移動が原因のけが人の割合



※東京消防庁「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック（平成26年度版）」に一部加筆

# 家具や書庫等の転倒防止対策

チェック欄

## ☐ タンス・棚・書庫

- ① 十分な強度がある柱や壁にL字金具などで固定します。支え棒を使用する場合は壁側の位置に設置し、免震ゴムを家具手前側に入れるとよいでしょう。
- ② 上段と下段に分かれたキャビネットなどは、つなぎ目を金具で固定します。
- ③ 食器棚や本棚などの扉に止め金具を付けるなど収容物の落下や散乱を防ぎましょう。ガラス面には飛散防止フィルムを貼ると安全です。

## ☐ テレビ

家具の上などには置かず、できるだけ低い位置に置いて固定しましょう。

## ☐ 額縁

チェーンや金具でしっかりと固定します。ガラス面には飛散防止フィルムを貼ると安全です。

## ☐ 照明器具

つり下げ式の照明器具については、チェーンと金具で数か所固定します。また、蛍光灯は、蛍光管の両端を耐熱性のテープで止めておきます。

## ☐ 冷蔵庫

粘着テープを使用した、転倒防止用の専用ベルトが市販されています。また、チェーン等で固定できるように、上側にフックがついている場合があります。

## ☐ 暖房機器

対震自動消火装置付きの暖房機器を使用し、周囲に燃えやすいものを置かないようにしましょう。

## ☐ 玄関・ブロック塀

玄関や縁側など、外への避難路となるところは、家具の転倒などでふさがれないよう、配置を工夫します。ブロック塀のあるご家庭は、傾きやひび割れ、破損がないか点検しましょう。

## ☐ ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻き付け、太めの柱に取り付けた金具に連結し、しっかりと固定します。脚には専用のすべり止め器具を付けましょう。

## ☐ 窓

ガラス面に飛散防止フィルムを貼りましょう。



◎ 一度、ご家庭や事業所での家具や書庫等の転倒防止対策をチェックしてみましょう！

※建物の耐震性についてもチェックしましょう！

(昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅の無料耐震診断を実施しています。詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。)